

1

① 五目

② 八
っ

③ 赤十字

④ 千人力

⑤ 一石

2

1 A イ

B ウ

C エ

2 養
—
—
庫

※2 完答

3 エ

4 ア

5 ア 2

イ 1

ウ 1

3

1 A ウ

B エ

C ア

2 イ

3 イ

4 ど
—
し

5 火
—
の
—
玉

6 A ア

B ウ

配点

1 各2点×5=10点

2~3 各5点×18=90点

<計>100点

① 今回の漢字の書きとり問題はすべて小学校一年生で学習する漢字から出題している。ただ、ことばの意味を知らないと書けないこともあるので、知らないことばがあれば意味をたしかめておくようにしよう。①「五目」は「五つの品」。または、さまざまなものがあるという意味である。②はカタカナの「ハ」のように書かない。③「赤十字」は戦争での負傷者、捕虜の保護をする国際協力組織のことである。白地に赤い十字のマークは募金活動などで見たことがあるのではないだろうか。④「千人力」は「ひじょうにたよりになる力」のこと。⑤「一石を投じる」は「問題を投げかける」という意味である。

②

1 A (A) の前の内容をあとで言いかえている。
B (B) の前に「ばらばらについているようにみえます」とあり、あとに「一定のきまりがある」とあることから考える。

C 「たねいもを切ってみました」↓「色のついた管があらわれました」と順番につなげている。

2 「いも」をたとえて言いかえたことばなので、まずは「いもは○○です」という表現をさがしてみると、⑨段落に「いもは、養分をたくわえた貯蔵庫です」と書いている。

3 イの「ジャガイモの芽」をえらばないように気をつける。芽はへこんだ「くぼみ」のなかにあると書かれていた。

4 「ジャガイモの植えつけ」「いものしくみ」「いもにたくわえられた養分」に分けられる。

5 ア 「二〜三つある」のは「くぼみ」ではなく「芽」である。

イ ③段落に「くぼみに注意して切ります」とある。くぼみには芽があるのだから、切らないほうがいいだろう。

ウ ⑨段落に「でんぷん」は「芽や根が生長するため」の「養分」だと書いている。

③

1 A 〰〰線Aがある文の次にある妖怪おばばのことばから、どしゃぶりの雨のせいでだれも遊びに来てくれないことをおこっているのがわかる。

B だれも来てくれずいらいらしていたところにかわいいまごたちから手紙がとどいたことから考える。

C はやくまごたちからの手紙を読みたいのである。エの「よろこんでいる様子」もいけそうだが、Bで使うのでえらべない。

2 おばばが「だれじゃ?」と聞いているのだから、アの「キツネのゆうびんやです」はよけいなことはいえない。また、ゆうびんやがウの「お手紙です」と言うのもよけいなことはいえない。しかし、イの「おまごさんたちから」はかならずしも言う必要のないことばである。

3 直後の「(じゃが、この雨じゃ、来いとも言えんしなあ)」からおばばは「まごたち」に会いたいのだとわかるので、イの「顔がよい」。

4 まごたちに「来い」と言いづらいほどの雨である。そのような雨を何と書いていたか。(3-2) 本文一行目に「なんといやなどししゃぶりだ。びちゃ、びちゃ、じとじと。これじゃ、だれも遊びに来てくれん」とあるし、本文最後の行にも「外はどししゃぶり」と書かれている。

5 「カッパちゃん」のところで、「火の玉の妹」と説明しているので、長男は「火の玉」だとわかる。

6 「まごたち」に会いたくてたまらなくなった「おばば」が「傘おばけ」に「まごたち」をむかえに行くように命令したのである。